

令和6年度 第3回（第24期第4回）文化財保護審議会 会議録

1. 日 時 令和6年10月25日（金）午後6時00分～午後8時00分

2. 出席者

委 員：白川 重敏、小坂 克信、和田 哲、坂本 要、西村 慎太郎、  
鎌倉 佐保、眞下 祥幸

事務局：立川市生涯推進センター長 庄司 康洋  
立川市生涯推進センター文化財係長 浦島 利浩  
文化財係 梅田 祐介

3. 報 告

1) 資料1 事業報告及事業予定について

事務局より令和6年度7月～10月事業報告、令和6年度11月～令和7年1月の事業予定について報告。東京文化財ウィーク期間で銅鉦鼓の実物資料を展示、昨年度新指定した普濟寺の宝物4件に係る企画展を開催している。審議会終了後に企画展を視察いただきたい。

委員からの意見、質疑なし。

2) 資料2 埋蔵文化財調査及び調査報告書について

事務局より、令和6年7月から10月までに現地調査を行った資料2「埋蔵文化財調査報告」に沿って状況を報告。

下大和田遺跡で本調査が終了した旨を報告。奈良平安時代の掘立柱建物跡2棟分の柱穴と近世から近代にかけた時期の建物跡1棟が検出されている。出土遺物は小コンテナ1箱ほどで、多くはない状況である。

委員：下大和田遺跡の建物は以前、近隣地点で官衙的な建物と考えられる遺構が検出されているが関連性を聞きたい。

事務局：遺構の規模、形態等からみると同じ時代で、似た性質の遺構と考えている。  
今後の整理調査で明らかにしていきたい。

3) 資料3 国指定史跡玉川上水と市指定史跡柴崎分水の軽微な現状変更について

事務局より、資料3に沿って国指定史跡玉川上水と市指定史跡柴崎分水の軽微な現状変更について報告。

委員からの意見、質疑なし。

4) 国宝石幢の保存修理事業について

事務局より資料4に沿って現在の修理状況について報告。

委員からの意見、質疑なし。

4. 議 題 市指定文化財の指定について

1) 資料5 市指定文化財の調査について

事務局：資料5に沿って有形文化財及び囃子を含む無形民俗文化財の候補リスト、現況について説明。松明まわしについては、文化財保存団体として認定しているが、市の指定無形民俗文化財に指定するにあたっての調査、また祭礼に係る無形民俗文化財

の指定の動向、調査方法について民俗専門の委員よりご教示いただきたい。

委員：祭囃子については、立川市では連合団体、連合会として文化財指定できないかという相談があったと聞いている。連合会内には設立の古い団体、新しい団体がある。文化財の指定制度では一般的に建造物では 50 年以上経過し、文化的な価値が高いものを指定するという考えのもと、50 年を区分要件にする例がみられる。連合会では新しい団体の経過年数で見ると指定は難しいと考える。所属する個々の団体としてみれば、年数以外に沿革や伝承系譜等が明らかなのか、調査次第になるが指定候補となる可能性はある。

松明まわしについては昭和 30～40 年代に遡る伝統がある。指定する場合は今後ある程度永続性が保たれることが確認できれば、伝統と独自性があるので指定候補になると考えている。

委員：松明まわしを指定する場合、保存団体等、継承組織を作る必要性があるのか。

委員：永続性をどの様に担うのが課題となる。

事務局：聞き取り調査では、砂川地域に保存会があったが、担い手の高齢化や材料となる麦藁の確保が難しく解散したと聞いている。現在、保存団体として認定している西砂町の団体は、砂川町の団体解散後に、新たに認定を受け引き継いでいると聞く。今後継承が困難になり失われる場合は、記録保存も必要になるが、その場合、永続性がないので文化財指定は難しくなる。他地域や他県の制度で記録保存を図りつつ、文化財の指定も考慮できるような制度があれば教示いただきたい。

委員：該当するかわからないが川崎市「川崎市地域文化財顕彰制度」があり、参考としてもらいたい。

諏訪神社の例大祭で奉納相撲を行っているが、歴史もあり継続しているので「立川相撲」として文化財調査を行い、指定候補として考えることもできる。

事務局：奉納相撲については市史編さん事業でも調査されていますか。

委員：部会の調査員に確認しますが、民俗行事として注目されるものと捉えている。

委員：松明まわしの風習は、稲作の虫除けとして始められたと認識しているが、砂川の地域で発生したとは考え難い。いつ、どこから伝わったのかわかっていない。

委員：東北地方では虫よけ等の意味をもつものが多く、文化財指定される例も多い。

委員：農作業の習慣が、砂川では、いつ頃から迎え火・送り火に変わったのか、文化財調査の際には、留意してほしい。

事務局：松明まわしの歴史的経緯や保存会の状況を調査したうえで、今後の指定候補の議題にあげていきたい。また、奉納相撲についても市史編さん室に確認し、現況調査をすすめたい。

## 2) 市指定文化財の看板修理について

事務局：資料 6 に沿って普濟寺内の文化財看板のレイアウト、説明する項目について意見をいただきたい。

委員：中世の文化財は焼失し項目が少なくなった。境内から出土した板碑については、数少ない中世の文化財として説明項目を加え、紹介してほしい。また看板を設置、文面改定の際は年月を記すのが望ましいと考える。

事務局：前は平成 3 年頃に設置している。年月について表記したい。

委員：現在設置されている看板の屋根支柱、フレームは変えず、文面のみの変更か。

また、境内には近隣には珍しい閻魔堂があり、近世所産の閻魔坐像や脇侍が安置されている。スペースがあれば記載を検討してほしい。

事務局：盤面でスペースに余裕があれば、江戸名所図会の挿絵など載せてみたいと考えているが、その必要があるのか意見をいただきたい。

委員：市史跡満願寺井戸の文化財説明板には別掲しているが、その以外の看板には掲載例がない。

委員：これはこれで、絵図から得られる情報を載せることやデザインは悪くない。

委員：市内で文化財以外の看板や他市等で類例するものもあるが、市内の文化財看板は、揃える方針があれば、それに合わせるものと考えてる。

事務局：向郷遺跡に盤面の大きさが同じサイズのものがあるが、その他にはこの大きさものはない。文面の内容については次回の審議会内でご確認いただきたい。

## 5. その他

- ・東京文化財ウィーク 2024 企画関連事業の開催について  
事務局より東京文化財ウィーク 2024 企画関連事業について説明。
- ・第 37 回多摩郷土誌フェアの開催について  
事務局より第 37 回多摩郷土誌フェアの開催について報告。